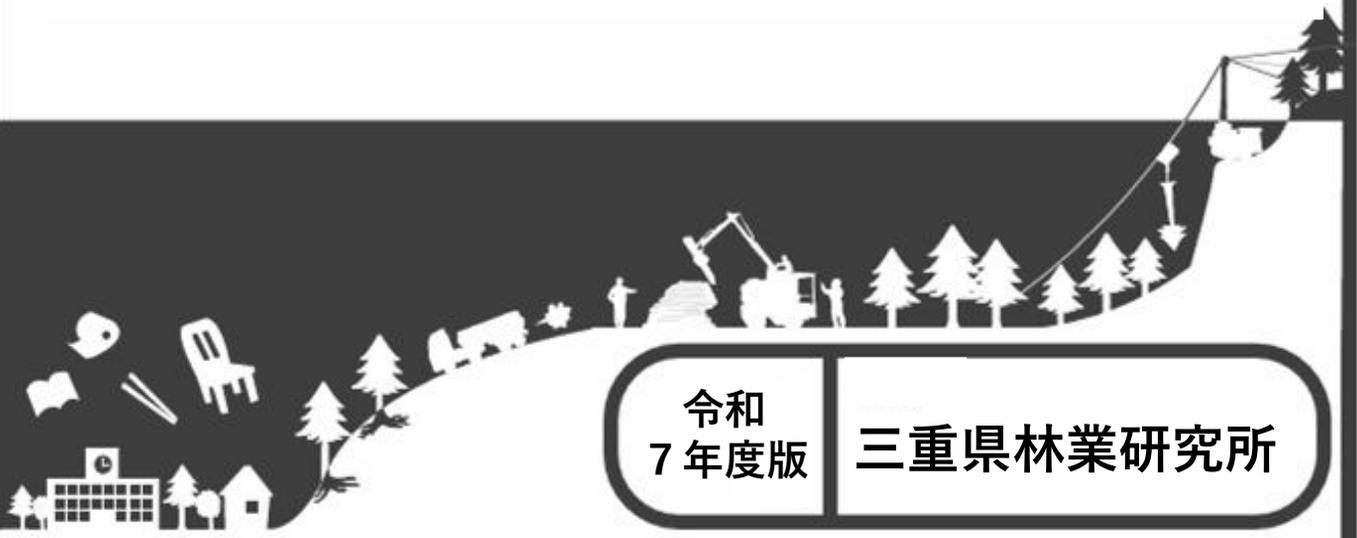


みえ森林教育プログラム



令和
7年度版

三重県林業研究所



はじめに

三重県では、平成26年4月から「みえ森と緑の県民税」を導入し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めています。その取組の一つとして、この税を活用して、平成28年4月から、森林教育や森づくり活動の総合窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を設置・運営し、指導者の育成や紹介、出前授業の実施、活動事例集の発行、森林教育のコーディネートなどを通じた森林環境教育・木育に取り組んできました。

こうした中、持続可能な発展にむけた社会づくりをより一層求める声の高まりや、教育現場では、学習指導要領が改正され、「生きる力」を育む主体的・対話的な深い学びを重視した教育手法が推進されるなど、森林や社会を巡る情勢は大きく変化しています。

このような変化に対応するため、令和2年10月には、県がこれまで推進してきた森林環境教育・木育を、明確な目的意識の下、より効果的に実施していけるよう、「みえ森林教育ビジョン」を策定し、森林教育の基本的な考え方や目標とする社会、人物像及び進め方を発展的に整理し、森林教育指導者、森林・林業・木材産業関係者、教育関係者、保育関係者等と共有しながら、これらの取組を一体的に進めています。

しかし、「みえ森林教育ビジョン」実現のためには、三重県に暮らす私たち一人ひとりが、年代に応じた学びや気づきを積み重ねることが重要であることから、年代に応じた森林教育のテーマや課題、その森林教育を通じて、将来的にどのような行動へと導くのかを示した「みえ森林教育プログラム」を作成することとしました。

この「みえ森林教育プログラム」の作成にあたっては、林業や森林教育の人材育成に関わる関係者からなるワーキンググループにおいて、令和5年度から令和6年度に7回のワーキング活動を通して検討を重ねてきました。また、京都教育大学 山下宏文 名誉教授や三重大学教育学部 平山大輔 教授からご助言をいただきながら、県内の小中学校の教員や、森のせんせいなど森林教育に携わる指導者の方々のご意見を参考にさせていただきました。

ここでは、この「みえ森林教育プログラム」の考え方を示すとともに、学校関係者や森林教育指導者など、森林教育を企画・運営しようとする方々の参考となるよう、県内で行われた森林教育プログラムの事例を掲載しています。また、それぞれの事例には「みえ森林教育ビジョン」や「みえ森林教育プログラム」との関連付けのほか、学校教育での活用が進むよう、学習指導要領における位置づけを記載しています。

また、取組事例の内容は、毎年更新してまいりますので、これらの事例を参考に、より多くの場面で森林教育が展開されることを期待します。

もくじ

第1章 「みえ森林教育プログラム」の基本的な考え方

- 1 「みえ森林教育ビジョン」とは・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1
- 2 みえ森林教育がめざす年代ごとの姿（育成する資質・能力） P.2
- 3 子どもから大人までの森林教育・・・・・・・・・・・・・・・・ P.5
- 4 学校教育の中で実施される森林教育への期待・・・・・・・・ P.6
- 5 森林教育プログラムの進め方・・・・・・・・・・・・・・・・ P.7

第2章 めざす姿に応じた森林教育プログラム～取組事例～ P.9

巻末資料

- 1 学習指導要領における学習内容と掲載事例一覧・・・・・・・・ P.85
- 2 用語の定義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.88
- 3 みえ森づくりサポートセンターの活用・・・・・・・・ P.89
- 4 みえ森と緑の県民税の活用・・・・・・・・・・・・・・・・ P.90



発行 三重県農林水産部
 監修 京都教育大学
 名誉教授 山下宏文氏
 発行年月 初版 令和7年2月
 第2版 令和8年2月

問合せ先
 三重県林業研究所普及・森林教育課
 〒515-2602 津市白山町二本木3769-1
 TEL 059-262-5352 FAX 059-262-0960
 Email miefa2@pref.mie.lg.jp



この印刷物は、FSC®認証紙を使用し、植物性100%の「植物インキ」で印刷しています。



このみえ森林教育プログラムは、「みえ森と緑の県民税」を活用して制作しました。